

平成24年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	市場開放問題苦情処理の推進に必要な経費		担当部局	政策統括官(経済社会システム担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和56年度		担当課室	規制・制度改革担当事務局		参事官 中原 裕彦		
会計区分	一般会計		施策名	11 市場開放問題に係る苦情処理を通じた市場アクセスの改善				
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	昭和57年1月30日経済対策閣僚会議決定、平成6年2月1日閣議決定				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	対日直接投資の手続、サービス、政府調達分野等を含む市場アクセスの改善を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	市場開放問題に関連を有する事業を扱う各省庁が窓口機関として、主に海外企業からの輸入手続き等を含む我が国市場開放についての諸問題(輸入手続の円滑化等)に関する具体的な苦情受付・処理等業務を実施。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付 其他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	7	0.4	0.4	0.3	0	
		補正予算	0	0	0.0			
		繰越し等	0	0	0.0			
	計	7	0.4	0.4	0.3	0		
	執行額	0	0	0				
執行率(%)	0	0	0					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	事業発足(昭和56年度)から現在までの事案解決率(99.85%(延べ))		成果実績	%	99.85	99.85	99.85	99.85
			達成度	%	n/a	n/a	n/a	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	扱い件数:0件(平成19年度以降、事案の持ち込み、解決実績とも無いため。)		活動実績(当初見込み)	件	0	0	0	(7) (7) (6)
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	庁費	0.3	0.0	近年の低調な事業実績を踏まえ、独立した経費項目として計上することを取り止める。				
計	0.3	0.0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	市場開放の隘路となっている政府規制を改善する事業であり、国が実施すべきものである。苦情事案の持込みがないことが不用率が大きい要因と承知されている。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	主に外国からの苦情持ち込みに対応する場合の最低限の経費(通訳・翻訳)のみを計上している。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>外国企業等からの苦情申出に備え、必要最低限の経費(通訳雇い上げ)のみ計上。</p> <p>苦情申出実績は近年皆無ではあるが、我が国における全政府的な市場開放問題苦情処理体制は確立されており、この枠組みの下で内閣府が第一義的な窓口機能を有していることも国内外に周知されてきている。このため、事業ニーズの実勢は踏まえつつも、上記のような最低限の予算確保を通じて現状の枠組みを継続していくことは必要。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>平成24年度に予算を削減しているが、執行実績がない(0%)状況が続いていることから、引き続き、予算計上のあり方について検討すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>近年の低調な事業実績を踏まえ、独立した経費項目として計上することを取り止め、平成25年度予算要求からは共通経費の一部に改める。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			
平成22年行政事業レビュー	0032	平成23年行政事業レビュー	0033

平成23年度実績を記
入

平成23年度の予算使用
実績なし。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 費目と使途の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					